

国語 3 物語を読み、心に残ったところを説明する

3

原さんの学級では、物語を読み、心に残ったところについて説明することにしました。原さんは、「オニグモじいさんの朝ごはん」という題名の物語を選んで読んでいます。次は、原さんが読んだ【物語】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【物語】 ※ アからエと、①から④、 の内容は、あとの問いで取り上げられます。

(松居スーザン「オニグモじいさんの朝ごはん」による。)

(松居スーザン「オニグモじいさんの朝ごはん」による。)

(松居スーザン「オニグモじいさんの朝ごはん」による。)

(松居スーザン「オニグモじいさんの朝ごはん」による。)

(松居スーザン「オニグモじいさんの朝ごはん」による)

(松居スーザン「オニグモじいさんの朝ごはん」による)

一 原さんは、「物語」の について、かがやいているのは何だろうと考えています。次の 部「かがやいています」の主語として適切なものを、あとの 1 から 4 までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

3 はらっぱじゅうの 1 もやが ひかりの雲にかわり、 2 そして、そのまんなかで、オニグモじいさんの 果は、かぞえきれないほどたくさんのお日さままでできているように、きらきら、きらきらと、まぶしくかがやいています。

- 1 もやが
- 2 そして
- 3 果は
- 4 まぶしく

二 原さんは、「物語」を読んで、心に残ったところとその理由をまとめるために、同じ物語を読んだ鳥さんと話し合うことにしました。次は、「話し合いの様子」です。これをよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【話し合いの様子】

原さん

私は、オニグモじいさんがハエの女の子に、(1)を示しながら、「わしみたいなクモが、生きるために食っているのはな」と言っておめたところが心に残ったんだ。

鳥さん

なぜ、そこが心に残ったの。

原さん

この言葉にオニグモじいさんの迷いが表れていると思ったからなんだ。(2)を示しながら「大きな目をひらいて、いっしょうけんめい」とあるようなハエの女の子のすなおな姿を見て、自分がハエの女の子を食べる存在であることを、どのように話すか迷っているのではないかな。

鳥さん

そうか。それで結局、オニグモじいさんは、(3)を示しながら「わしが食って生きているのはな、朝日のひかりだよ」と言ったんだね。

原さん

そうだね。物語のいろいろなところを結び付けて考えると、心に残った理由がはっきりしてきたよ。鳥さんは、どこが心に残ったの。

鳥さん

私は、(4)を示しながら「きれいな虹がうかんで見えるだけ」という表現がいいなと思ったよ。もう一度物語を読んで、心に残ったところとその理由を考えてみよう。

(1) 原さんは、「物語」の①の他にも、オニグモじいさんがハエの女の子にどのように話すか迷っているところがあると考えました。オニグモじいさんがどのように話すか迷っていると考えられるところとして最も適切なものを、次の 1 から 4 までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 【物語】のア
- 2 【物語】のイ
- 3 【物語】のウ
- 4 【物語】のエ

(2) 【話し合いの様子】で、原さんは【物語】を読んで考えたことを話しています。原さんは、物語の何に着目して話していますか。その説明として最も適切なものを、次の 1 から 4 までのの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 登場人物の気持ちや考え方
- 2 作者が伝えていること
- 3 物語の構成
- 4 表現の効果

日付	題名	感想
4/10 ~ 4/11	大逆じいさんとガン	
	感想	
「いつまでも、いつまでも、見まもって！ いたしな」という最後の一言が心に残った。 死害への気持ちが変わるそうに感動した。		
日付	題名	感想
4/21 ~ 4/25	里の王子さま	
	感想	
キツネが「心で見てくちや」と話したところから、形のないものの大切さを考えることができた。		
日付	題名	感想
4/27 ~ 4/29	はらっぱのおはし 「ボニゴキといえぬもの船」はよん。」	
	感想	
「わしが食べて生きてるのはな、朝日、のひかりだよ」という言葉にふたたたくになった。シリーズの他の作品も読みたい。		
日付	題名	感想
4/21 ~ 4/25	里の王子さま	
	感想	
キツネが「心で見てくちや」と話したところから、形のないものの大切さを考えることができた。		
4月のふり返り		

- 四 原さんの学級では、日ごらから読んだ本を記録しています。次は「原さんの読書の記録」です。原さんは自分の記録を読み返し、気づいたことを にまとめています。 に入る内容として最も適切なものを、下の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

[illegible]

※左の原稿用紙は下書き用なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※◆の印から書きましょう。とちゅうで行を変えないで、続けて書きましょう。

- 心に残ったところと、心に残った理由を書くこと。
○ 【物語】から言葉や文を取り上げて書くこと。
○ 六十字以上、百字以内にまとめて書くこと。

三 原さんは、島さんと話合ったあと【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をまとめています。あなたなら【物語】を読んで、心に残ったところとその理由をどのようにまとめますか？ 次の条件に合わせて書きましょう。

出題の趣旨

登場人物の相互関係や心情を描写を基に捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることや、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができるかどうかをみる。

物語などを読み、登場人物の人物像を具体的に想像するためには、登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、登場人物の相互関係などを手掛かりにして、性格や考え方などを総合して判断することが重要である。また、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くためには、本などの中の言葉から自分を支える言葉を見付けたり、今までになかった考えを発見したりすることなどによって、読書の意義をより強く実感できるようにすることが重要である。読むことの学習が、日常的な読書活動に結び付くようにすることが大切である。

本問では、物語を読み、心に残ったところについて説明する内容をまとめる場面を設定した。原さんは、「オニグモじいさんの朝ごはん」という題名の物語を読み、同じ物語を読んだ島さんと話し合ったあと、心に残ったところとその理由をまとめている。ここでは、登場人物の相互関係や心情を描写を基に捉え、人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりして、心に残ったところとその理由をまとめることが求められる。また、【**原さんの読書の記録**】を基に、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くことが求められる。

なお、過去の調査結果で見られた課題と関連する設問は、以下のとおりである。

- 設問一は、令和3年度【小学校】国語³三(2)イ（正答率67.2%）において、「文の中における主語と述語との関係を捉えること」に課題が見られたことを踏まえて出題した。
- 設問二(2)及び設問三は、令和4年度【小学校】国語²二（正答率68.5%）、²三（正答率59.4%）において、「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること」に課題が見られたことを踏まえて出題した。

また、本調査で初めて取り上げる内容に関する設問は、以下のとおりである。

- 設問四では、第5学年及び第6学年の〔知識及び技能〕の(3)我が国の言語文化に関する事項「オ 日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くこと」を取り上げている。この指導事項を本調査で取り上げることは初めてである。

■学習指導要領に示されている言語活動例との関連

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

- イ 詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。

設問一

趣旨

文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第3学年及び第4学年〕 知識及び技能

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

カ 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。

1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率(%)	正答
③	1 1 と解答しているもの	13.8	◎
	2 2 と解答しているもの	3.0	
	3 3 と解答しているもの	62.5	
	4 4 と解答しているもの	18.3	
	99 上記以外の解答	0.3	
	0 無解答	2.0	

2. 分析結果と課題

- 令和3年度【小学校】国語③三(2)イの選択式の問題（正答率67.2%）において、「文の中における主語と述語との関係を捉えること」に課題があると指摘している。これに関連して、本設問では、主語と述語との関係について理解した上で、主語を選択する問題を取り上げた。本設問の正答率は62.5%であった。今回の結果から、主語と述語との関係について理解することに引き続き課題があると考えられる。
- 解答類型1は、「かがやいています」の主語が「もやが」とであると捉えており、主語を形式的に判別していて、文の構成を理解した上で、主語と述語との関係を捉えることができなかったと考えられる。この中には、主語が、文の中で「何が/だれが」を表す言葉であることは理解できているが、文の中での語句の係り方を捉えずに、文の最初にある「～が」を主語として捉えた児童がいたと考えられる。
- 解答類型4は、「かがやいています」の主語が「まぶしく」とであると捉えており、文の構成を理解した上で、修飾と被修飾との関係や主語と述語との関係を捉えることができなかったと考えられる。「まぶしく」は「かがやいています」と修飾語、被修飾語の関係となる言葉であるが、「かがやいています」の直前にあるため、主語と述語の関係となる言葉であると混同してしまった児童がいたと考えられる。

3. 学習指導に当たって

文の中における主語と述語との関係を捉える

- 主語と述語との関係について、低学年から繰り返し指導することが大切である。
本設問では、「かがやいています」の主語が「巢は」という主語と述語との関係を捉えることが求められる。
学習指導に当たっては、日常的に主語が何かを意識して文章を読んだり書いたりすること

が重要である。その際、「～が」、「～は」、「～も」のように主語の表し方は様々にあることや、主語と述語が離れて表されている場合があることに留意して指導することが大切である。また、〔思考力、判断力、表現力等〕の「Ｃ読むこと」の「構造と内容の把握」や「Ｂ書くこと」の「推敲」に関する指導事項などと関連させて、指導することが効果的である。

設問二(1)

趣旨

登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第５学年及び第６学年〕 思考力、判断力、表現力等 Ｃ 読むこと

イ 登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。

1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率 (%)	正答
③	1 1 と解答しているもの	4.6	
	2 2 と解答しているもの	21.1	
	3 3 と解答しているもの	67.1	◎
	4 4 と解答しているもの	4.5	
	99 上記以外の解答	0.1	
	0 無解答	2.6	

2. 分析結果と課題

- 本設問の正答率は67.1%であった。解答類型2の反応率も踏まえると、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることに課題があると考えられる。
- 解答類型2は、「ぶあいそうにいいました」という、行動の描写に着目しているが、「オニグモじいさん」が「ハエの女の子」にどのように話すか迷っていると考えられる描写を捉えることができなかったと考えられる。この中には、「ぶあいそうに」という直接的な描写に着目してしまい、「そして、とてもさびしそうな顔をして、ハエの女の子から目をそらしました」という暗示的な表現からオニグモじいさんが迷っている心情を捉えることができなかった児童がいたと考えられる。

3. 学習指導に当たって

登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉える

- 登場人物の相互関係や心情などを捉えるためには、描写に着目しながら読み進めていくことが重要である。登場人物の心情は直接的に描写されている場合もあるが、暗示的に表現されている場合もある。このような表現の仕方にも注意し、想像を豊かにしながら読むことが大切になる。

本設問では、「そして、とてもさびしそうな顔をして、ハエの女の子から目をそらしました」という描写から「オニグモじいさん」が「ハエの女の子」にどのように話すか迷っている心情を捉えることが求められる。

学習指導に当たって、低学年においては、挿絵を手掛かりにして読んだり、役割を決めて

演じたりすることなどを通して、内容の大体を捉えることが考えられる。また、中学年においては、場面と場面のつながりを意識したり、登場人物の気持ちの変化に着目したりすることなどを通して、複数の叙述を基に登場人物の行動や気持ちなどについて捉えることが考えられる。さらに、高学年においては、登場人物の行動や会話などについて、登場人物相互の関係と結び付けながら想像したり、場面の様子と登場人物の心情の関係に着目したりすることなどを通して、描写を基に登場人物の相互関係や心情などについて捉えることが考えられる。このようにして系統的に指導していくことが重要である。

設問二(2)

趣旨

人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。

1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率(%)	正答
③ 二(2)	1 1 と解答しているもの	72.6	◎
	2 2 と解答しているもの	5.5	
	3 3 と解答しているもの	5.7	
	4 4 と解答しているもの	12.9	
	99 上記以外の解答	0.3	
	0 無解答	2.9	

2. 分析結果と課題

- 令和4年度【小学校】国語②二の記述式の問題（正答率68.5%）、②三の選択式の問題（正答率59.4%）において、「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること」に課題があると指摘している。これに関連して、本設問では、【話し合いの様子】から、物語の何に着目して話しているかを選択する問題を取り上げた。本設問の正答率は72.6%であった。今回の結果から、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることについてはできていると考えられる。
- 解答類型2と解答類型3は、【話し合いの様子】の原さんが、「登場人物の気持ちや考え方」に着目して話していることを捉えることができなかったと考えられる。これらの中には、原さんが着目したところではなく、児童自身が着目したところを基に考えた児童がいたと考えられる。
- 解答類型4は、【話し合いの様子】の原さんが、「登場人物の気持ちや考え方」に着目して話していることを捉えることができなかったと考えられる。この中には、オニグモじいさんの心情が、行動や会話によって暗示的に表現されていることから、原さんが「表現の効果」に着目していると考えた児童もいたと考えられる。

3. 学習指導に当たって

人物像を具体的に想像する

- 登場人物の人物像を具体的に想像するためには、登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考え方などを総合して判断することが必要である。「C読むこと」のイの指導事項で捉えた性格や心情を踏まえ、物語などの展開と結び付けながら読み進めていくことが重要である。

本設問では、【話し合いの様子】において、原さんが【物語】の①や②の叙述を結び付けて、「登場人物の気持ちや考え方」に着目して読んだことを捉えることが求められる。

学習指導に当たっては、漠然としている登場人物の人物像を明確にしたり、想像した人物像の根拠となる描写を明らかにしたりすることができるよう指導することが大切である。その際、同じ登場人物について、異なる人物像を想像した児童同士で交流するなど、交流の仕方やグループ編成などを工夫する必要がある。

また、第3学年及び第4学年の「エ 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像すること」と、第5学年及び第6学年の「エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること」を系統立てて指導することが大切である。

設問三

趣旨

人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと

エ 人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。

1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率(%)	正答
③	三 (正答の条件) 次の条件を満たして解答している。 ① 【物語】を読んで、以下の内容を書いている。 a 心に残ったところ b 心に残った理由 ② 【物語】から言葉や文を取り上げて書いている。 ③ 60字以上、100字以内で書いている。 (正答例) ・ オニグモじいさんが、ハエの女の子に、自分が食べているのは朝日のひかりだと話したところが心に残りました。その理由は、すなおな女の子をおどろかせず、安全に帰そうとするやさしさが表れていると思ったからです。(100字) ・ オニグモじいさんが、「食っているのはな」と言ってやめたところや、「食って生きているのはな、朝日のひかりだよ」と言ったところが心に残りました。女の子をこわがらせないようにする考え方に感動したからです。(99字)		
	1 条件①a、bの両方と、条件②、③を満たしているもの	72.7	◎
	2 条件①a、bの両方と、条件②は満たしているが、条件③は満たしていないもの	0.6	
	3 条件①a、bの両方は満たしているが、条件②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	0.0	
	4 条件①a、②は満たしているが、条件①bは満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	6.0	
	5 条件①aは満たしているが、条件①b、②は満たしていないもの *条件③を満たしているかどうかは不問とする。	0.0	
	6 条件②は満たしているが、条件①aは満たしていないもの *条件①b、③を満たしているかどうかは不問とする。	5.5	
	99 上記以外の解答	2.7	
	0 無解答	12.5	

2. 分析結果と課題

○ 令和4年度【小学校】国語②二の記述式の問題（正答率68.5%）、②三の選択式の問題（正答率59.4%）において、「人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えた

りすること」に課題があると指摘している。これに関連して、本設問では、心に残ったところとその理由をまとめたものを記述する問題を取り上げた。本設問の正答率は72.7%であった。今回の結果から、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることについてはできていると考えられる。

○ 解答類型1の具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ 「わしが食って生きているのはな、朝日のひかりだよ」と言ったのが心に残った。理由は、素直なハエの女の子を見て、自分が食べているのはハエと言えず、朝日のひかりを食べていると言った温かさに感動したからだ。(99字)
- ・ 「はやくかえって、安心させてやりな」という言葉が心に残りました。なぜなら、テントウムシの家族を見て、ハエのおっかさんも心配してるかもしれないと考えたオニグモじいさんのやさしいところに感動したからです。(100字)
- ・ オニグモじいさんが、自分の食べているものをハエの女の子に正直に言わなかったところが心に残りました。なぜなら、そこでオニグモじいさんがハエの女の子と少しでも長い時間話したいんだなと感じたからです。(97字)

このように解答した児童は、心に残ったところとその理由を、【物語】から言葉や文を取り上げて書いている。この中には、登場人物の行動や会話、様子などから、人物像や物語の全体像を具体的に想像し、自分の考えを明らかにすることができた児童や、着目した場面の様子などの叙述を基に、登場人物について、どのような様子だったのかななどを具体的にイメージした児童がいたと考えられる。

(例)

- ・ ぼくは、③の「わしが食っているのはな、朝日の光だよ」と言っているところが心に残りました。なぜなら、その前のウのところでハエの女の子から一度目をそらしてさびしそうな感じが出ていたからです。(95字)
- ・ 心に残ったところは、「ひとつぶのひかりに、いきなり食いつきました。」です。理由は、ハエの女の子に「ひかりをたくさん食べて、元気でくらしてね。」と言われ、心を動かされてそう行動したと思ったからです。(98字)

このように解答した児童は、心に残ったところとその理由を、【物語】から言葉や文を取り上げて書いている。この中には、登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考え方などを総合して判断し、登場人物の人物像を具体的に想像した児童がいたと考えられる。

(例)

- ・ 「わしみたいなクモが、生きるために食っているのはな」と言いかけて、やめたところが印象に残っています。理由は、「さびしそうな顔」をしていて、自然の中で生きるさびしさを感じたからです。(90字)
- ・ 本当のことを言うときずつくと考え、自分が食べているのは、「朝日のひかり」と言ったところが心に残りました。なぜなら、登場人物の心のあたたかさを感じ、だれもがやさしい心をもっていると思ったからです。(97字)

このように解答した児童は、心に残ったところとその理由を、【物語】から言葉や文を取り上げて書いている。この中には、登場人物や場面設定、個々の叙述などを基に、その世界や人物像を豊かに想像し、物語の全体像を具体的にイメージした児童がいたと考えられる。

(例)

- ・ 「どこを向いても、きれいな虹がうかんで見えるだけでした。」という表現が心に残りました。理由は、一人だったじいさんに、元気なハエの女の子がきて、たくさん話せたうれしさが表現されていると思ったからです。(99字)
- ・ ぼくは、「まわりの林では、小鳥たちが朝の歌をうたいはじめました」という言葉が心に残りました。なぜなら、オニグモじいさんの心が少しうれしそうなことを表していると思ったからです。(87字)
- ・ ぼくは「はらっぱにたちこめた朝もやも、ふわふわのピンクの雲のようになりました」という文が心に残りました。理由は、日の出のしゅん間のげんそう的な風景をなびく朝もやで表していてきれいだったからです。(97字)

このように解答した児童は、心に残ったところとその理由を、【物語】から言葉や文を取り上げて書いている。この中には、場面の移り変わりとともに変化していく登場人物の気持ちと合わせて、情景について具体的に想像した児童や、想像した人物像や全体像と関わらせながら、様々な表現が読み手に与える効果について自分の考えを明らかにできた児童がいたと考えられる。

○ 解答類型4の具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ 私がこの物語を見て心に残ったのは、オニグモじいさんが光をつかまえたところで「おまえがあれにつかまってしまうと朝日のひかりとまちがえられて、食われてしまうかもしれないだろう？」と言ったシーンです。(97字)
- ・ わたしは、オニグモじいさんの「巣が、かぞえきれないほどの小さなおひさまでできているようだ」という言葉が心に残りました。(59字)

このように解答した児童は、【物語】を読んで、心に残ったところを【物語】から言葉や文を取り上げて書いている。しかし、心に残った理由については書いていない。この中には、「心に残ったところ」はあるものの、「心に残った理由」を言語化できなかったり、「心に残ったところ」から人物像や物語などの全体像を具体的に想像することができなかったりした児童がいたと考えられる。

○ 解答類型6の具体的な例としては、以下のようなものがある。

(例)

- ・ 朝自分の巣がどのように見えるかと外へ出る中で、ハエの女の子がやってきて、自然のきびしさを教えようとした話。(53字)
- ・ オニグモじいさんはハエの女の子に「朝日のひかり」とうそをついてしまい、その後、またひとりぼっちになってしまった悲しさとハエの女の子を食べなくてすんだ両方の気持ちが表されていると思った。(92字)

このように解答した児童は、【物語】から言葉や文を取り上げて書いている。しかし、【物語】

を読んで、心に残ったところを書いていない。この中には、物語の内容を書いたものの、それを「心に残ったところ」として書くことができなかった児童がいたと考えられる。また、「心に残ったところ」について、漠然とした印象があり、そのことについて、理由と一体的に書こうとしたために、「心に残ったところ」と「心に残った理由」を書き分けることができなかった児童もいたと考えられる。

3. 学習指導に当たって

人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりする

- 登場人物の人物像を具体的に想像するためには、登場人物の行動や会話、様子などを表している複数の叙述を結び付け、それらを基に性格や考え方などを総合して判断することが必要である。また、物語の全体像は、登場人物や場面設定、個々の叙述などを基に、その世界や人物像を豊かに想像することで捉えられる。「何が書かれているか」という内容面だけでなく、「どのように描かれているか」という表現面にも着目して読むことが、物語の全体像を具体的に想像するために重要である。

また、表現の効果を考えるとは、想像した人物像や全体像と関わらせながら、様々な表現が読み手に与える効果について自分の考えを明らかにしていくことである。感動やユーモアなどを生み出す優れた叙述、暗示性の高い表現、メッセージや題材を強く意識させる表現などに着目しながら読むことが重要である。

本設問では、【話し合いの様子】を踏まえ、【物語】を読んで、心に残ったところとその理由を、【物語】から言葉や文を取り上げてまとめることが求められる。

学習指導に当たっては、それぞれの心に残ったところとその理由を交流することにより、人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることができるようにすることが大切である。文学的な文章を読む学習においては、文章を読む観点を焦点化することも考えられるが、児童がそれぞれの読み方で読むことができるよう、配慮することも大切である。その際、友達が着目したところと自分が着目したところを比べることを通して、児童自身が「人物像」や「物語の全体像」、「表現の効果」のどの観点で読んだのかを明確にしていけることができるようにすることが大切である。

児童によっては、心に残ったところとその理由を書くことが難しい場合が考えられる。そのような場合には、教師や複数の児童で言葉の意味や様子を確認しながら、場面によって登場人物の行動や会話がどのように変化したかといったことを一緒に読んでいくことも必要である。

心に残ったところは書けるが、その理由を書くことが難しい児童に対しては、「なぜか」ということや「～からです」など、思考そのものに関わる語句を例示することが考えられる。また、物語の全体像をつかむことができても、根拠となる叙述を明確にすることが難しい児童に対しては、「～のところから」など、根拠を表す語句を例示することが考えられる。このように、〔知識および技能〕の(1)「言葉の特徴や使い方に関する事項」と関連させて、自分の考えを適切に表現することができるように指導すると効果的である。

具体的な授業の例として、共通教材を読んで、心に残ったところなどを「読書の記録」に書くことを通して、物語のよさを考える指導事例を、「授業アイディア例」のB：文学的な文章を扱う場面に示す。なお、「授業アイディア例」における児童の反応例については、解答類型1に該当する例を「島さん」、解答類型4に該当する例を「原さん」、解答類型6に該当する例を「岸さん」として示している。

設問四

趣旨

日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことができるかどうかをみる。

■学習指導要領における内容

〔第5学年及び第6学年〕 知識及び技能

(3) 我が国の言語文化に関する事項

オ 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くこと。

1. 解答類型と反応率

問題番号	解答類型	反応率(%)	正答
③ 四	1 1 と解答しているもの	2.9	
	2 2 と解答しているもの	5.0	
	3 3 と解答しているもの	9.6	
	4 4 と解答しているもの	74.8	◎
	99 上記以外の解答	0.2	
	0 無解答	7.6	

2. 分析結果と課題

- 本設問の正答率は74.8%であった。今回の結果から、日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことについてはできていると考えられる。
- 解答類型2と解答類型3は、【原さんの読書の記録】を基に、「読書を通して、自分の心にひびく言葉や今までになかった考えを見つけることができる」という読書の意義を捉えることができなかつたと考えられる。これらの中には、【原さんの読書の記録】からではなく、自分の読書経験を基に考えた児童がいたと考えられる。また に書かねばならないことが三つの「読書の記録」に共通する内容であるということをつえられなかつた児童もいたと考えられる。

3. 学習指導に当たって

日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付く

- 日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに役立つことに気付くためには、本などの中の言葉から自分を支える言葉を見付けたり、今までになかった考えを発見したりすることなどによって、読書の意義をより強く実感できるようにすることが大切である。
本設問では、原さんが、【原さんの読書の記録】を読み返して、「読書を通して、自分の心にひびく言葉や今までになかった考えを見つけることができると気づいた」ことを捉えることが求められる。
学習指導に当たっては、国語科における、「読むこと」の学習との関連を意識して読書活動の年間指導計画を立て、「朝の読書活動」や「読書の記録」等の取組を通して、日常的に読書に親しむことができるようにすることが大切である。
その際、「読書の記録」を見返すなどして、児童自身の気づきを引き出す学習場面を設定すると効果的である。
具体的な授業の例として、読書活動を振り返り、読書の意味を考える指導事例を「授業アイディア例」のC：読書活動を振り返る場面に示す。

本問全体の学習指導に当たって

授業アイディア例

「物語を複数読み、自分の読書の世界を広げたり深めたりしよう」 ～人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、 表現の効果を考えたりしながら、物語を読む～	〈実施対象学年〉 第5・6学年
---	--------------------

人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることに成果が見られました。そこで、「読むこと」の学習の一層の充実を図るために、本授業アイディア例では、令和6年度全国学力・学習状況調査【小学校】国語³で取り上げた【物語】を活用した指導事例を紹介します。

◇ 教師は、本単元で重点的に取り上げる指導事項を明確にし、児童の実態を踏まえながら、学習の流れを想定します。特に「読むこと」については、読書活動との関連を意識して年間指導計画を立て、重点的に取り上げる指導事項を明確にすることが大切です。



教師

「読むこと」の学習と、読書活動の年間指導計画の関連を意識して指導することで、「読むこと」の資質・能力を高めつつ、日常的に読書に親しむことができる児童の姿を目指したい。

【「読むこと」の学習と読書活動との関連を意識した指導】

		教育課程全体				
		読書活動 年間の流れ(例)	読書を推進する 取組(例)	国語科の「読むこと」の年間指導計画における重点指導事項(例)		
A	【知識及び技能】(3)オ 読書 日常生活の中で主体的・継続的に読書を行うための見通しをもつ					A:読書活動の見通しをもつ場面
	4月	○公共図書館や学校図書館を活用する。			【文学的な文章】(構造と内容の把握) ・登場人物の相互関係について捉える。	
	5月					
	6月					
B	7月	○調べ学習に活用する。	朝読書や学校図書館利用の継続	「読書の記録」を書く	【文学的な文章】(精査・解釈) ・物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしながら読む。	B:文学的な文章を扱う場面
	8月				【読書の指導】 ・日常的に読書に親しみ、読書のよさに気付く。	
	9月					
	10月					
	11月	○読書の経験を振り返る。			【説明的な文章】(精査・解釈) ・筆者の論の進め方について考える。	★「令和3年度【小学校】授業アイディア例」pp.7-8
	12月				【文学的な文章】(考えの形成) ・物語を読んで考えたことを、自分の生活や読書の経験などと結び付けながらまとめる。	
	1月				【説明的な文章】(考えの形成) ・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめる。	
	2月				★「令和5年度【小学校】報告書」pp.48-52	
	3月		【文学的な文章】(考えの形成) ・登場人物の生き方について、自分の考えをまとめる。			
C	【知識及び技能】(3)オ 読書 これまでの読書活動を振り返り、読書の意味を考える					C:読書活動を振り返る場面

※ 上記のA～Cの三つの場面について、このあとの授業アイディア例に示しています。

※ 上記のA～Cの三つの場面について、このあとの授業アイディア例に示しています。



教師

年度の始めに、日常生活の中で主体的・継続的に読書を行うための見通しをもつことのできる授業を行おう。その後、夏休み前に文学的な文章の単元を学習して、夏休み中も本を読むように促そう。読んだ本についての「読書の記録」をクラウド上で管理することで、児童同士の交流を生んだりすることができそうだな。また、これまでの読書活動を振り返る際にも、4月から書き溜めた「読書の記録」を活用しよう。

ポイント

- 読書の計画を立てる際、単元や一単位時間の授業について計画を立てるだけでなく、本単元が年間の中でどこに位置付くか、見通しをもつことが大切です。「読むこと」の年間指導計画に基づき、それぞれの単元で重点的に取り上げる指導事項を明確にした上で指導を行うことが大切です。

A：読書活動の見通しをもつ場面

日常生活の中で主体的・継続的に読書を行うための見通しをもつ

◇ 年度始めに、年間を通して読書に親しみ、「読書の記録」を残していこうという活動の見通しをもちます。



教師

- 「読書の記録」を書き溜め、振り返ったり、友達と意見を交流したりして、自分の読書の傾向や意味について考えさせたいな。
- 読書活動と国語の「読むこと」の学習とを関連させて指導することで、「読むこと」の資質・能力を効果的に育成しよう。

【4月頃】



今週の4月23日は「子ども読書の日」ですね。みなさんはこれまでどんな本を読んできましたか。心に残っているのはどんな本ですか。



岸さん

あまり本を読まないから、思い出せないな。
絵本や図鑑を読んだことがあるけれど、いつ頃にどんな本を読んだかな。



原さん

好きな物語のシリーズを読んで、記録を書いてきました。
「読書の記録」を書いておくと、あとで読み返すことができるよ。



島さん

いろいろなジャンルの本を読んできました。
原さんのように「読書の記録」を書いていくと、よいことがありそうだ。私も「読書の記録」を書きたいな。



本を読んできた経験は人によって様々ですね。「読書の記録」を残しておくこととあとで振り返ることができそうですね。それでは、今年はどんな本を読んだか記録を書いていきましょう。「読書の記録」の中で、みんなに読んでもらってもよい記録があれば、クラウド上にファイルを置いて互いに参照してもよいですよ。



原さんと島さんは自分でどんどん読みすすめていくことができるな。「読書の記録」も自分で書きためられそうだ。
岸さんは本を選ぶための支援が必要だな。記録の書き方もモデルを示す必要がありそうだ。簡単な感想や、心に残った一文を書き抜くだけでもよいことを伝えよう。

【6月頃】



クラウド上に置かれた「読書の記録」を見返すと、図鑑や科学的な読み物をよく読んでいて、読書の傾向に偏りがある児童がいるな。やはり、国語の文学的な文章の授業を読書活動と関連させて行おう。そして、多くの文学的な文章を読めるようにしよう。また、物語を読んでいる子も、精査・解釈の力は弱いな。精査・解釈の力を身に付けられるように指導しよう。

ポイント

- これまでの読書の経験を想起する際には、「子ども読書の日」や、これまでに各学校で取り組んでいる読書のイベントと関連させたり、司書教諭・学校司書等と連携したりすることにより、児童が、日常的に読書に親しもうとする思いをもつことができるようにすることが大切です。
- 「読書の記録」は、児童の個人情報のため、扱いに留意する必要があります。ここでは学習のために、「読書の記録」を交流などで活用することを児童と確認し、児童の判断で「読書の記録」をクラウド上に置くことができるようにする必要があります。

【7月頃】

◇ 「読書の記録」から分かった読書の傾向を基に、文学的な文章を読む単元に入ります。



教師

これまで書き溜めてきた「読書の記録」を見返しましょう。
みなさんは、どのような物語を読んで、記録に残してきましたか。



岸さん

前に、図書室の先生が読み聞かせをしてくれた昔話をもう一回読みました。



原さん

「銀色の幻想」という物語を読みました。この物語を読んだ人は、どんなことを「読書の記録」に書いたのかな。



島さん

「星の王子さま」を読みました。みんなにすすめています。みんなのおすすめの物語も知りたいです。



友達が読んだ物語の「読書の記録」に興味が出てきたようです。
では、これからは特に物語を選んで読み、友達に読んでもらいたい「読書の記録」をクラウド上に置いて交流していきましょう。これまでに物語を読んで書いた「読書の記録」の中で、みんなに読んでもらってもよい記録がある人は、クラウド上に置いてみましょう。みんなの「読書の記録」と自分の「読書の記録」を比べて気付いたことを発表しましょう。

5/7 「うら島太ろう」

うら島太ろうがりゅうぐう城に行くところがおもしろかった。(岸)

5/10 「銀色のげん想」

「老人はにっこりした。」という一文が心に残った。老人のぼくへのやさしさが感じられて感動した。(原)

5/16 「星の王子さま」

「自分が、これやすいたから物をだしている気がした。地球上に、これ以上これやすいたから物はないような気さえた。」
「いちばん大事なものは目に見えない」と分かり合えた王子さまとぼく。その王子のことをたから物、しかも地球上で一番これやすいと表現しているところが私の心にひびいた。このほかにもすてきな表現がたくさんある。表現のすばらしさがちりばめられた、私にとってのかけがえのない物語だった。(島)



毎回おもしろかったという感想しか書けていません。
みんなのように、物語のよさを見付けながら読めるようになりたいです。



心に残ったところを一文しか見付けられないので、どうしたらよいか知りたいです。



「星の王子さま」を読みました。すてきだと思う表現をたくさん集めることができました。
「読書の記録」を読み返すと、思い出せていいですね。

児童が人物像や全体像を想像したり、表現の効果を考えたりすることができるものを共通教材にしよう。これまでの「読書の記録」から考えると、児童同士で交流することで精査・解釈の力を付けることができそうだ。岸さんには私(教師)が支援しよう。



自分の「読書の記録」をもう少しよくしたいと思っている人もいます。
そのために、物語をどのように読んだらよいか、みんなと交流したいという意見もあります。

では、みんなで同じ物語「オニグモじいさんの朝ごはん」を読んで、どのように読むと「読書の記録」がよりよくなるかを交流していきましょう。

～「オニグモじいさんの朝ごはん」の読書～



「オニグモじいさんの朝ごはん」もいとお話だな。みんなはどう読んでいるのか知りたいな。交流するのが楽しみだな。

本アイディア例では、調査問題の物語を活用していますが、実際の授業では、教科書教材を用いることが考えられます。

B : ② / 4 共通教材を読んで、心に残ったところを交流する

◇ 共通教材の「オニグモじいさんの朝ごはん」を読んで、心に残ったところを交流し、それぞれ、どのように読んでいたかを確認することにしました。



教師

前の時間に、「オニグモじいさんの朝ごはん」を読みましたね。今日は、心に残ったところを交流して、それぞれどのように物語を読んだのか確かめてみましょう。心に残ったところをグループで交流しましょう。

おじいさんが女の子に言いかけてやめたところが心に残りました。

私は、二人が仲良くなっていく、いい話だなと思いました。



岸さん



原さん



島さん

情景がきれいでした。オニグモじいさんの気持ちを空の様子で表しているのがすてきだなと思いました。



友達はどうのようなところに着目して読んでいましたか。



おじいさんのやさしいところを見つけて読んでいました。



「表現がいいな」と思ったところを見付けながら読んだ人もいました。



岸さんは、おじいさんと女の子の関係性に目を向けて読んだのだなと思いました。



それぞれ心に残ったところがちがいますね。「表現の効果」や「登場人物同士の関係の変化」、「登場人物の人物像」など、様々な観点で読んでいることが分かりましたね。では、次の時間に、もう少し詳しく、どのように読めば、物語のよさを見付けられるのかを考えていきましょう。

○心に残ったところ

- ・おじいさんが女の子に言いかけてやめたところ
- ↓オニグモじいさんのやさしさ
- ・二人が仲良くなっていくお話
- ↓おじいさんと女の子の関係
- ・情景がきれい
- ・オニグモじいさんの気持ちを空の様子で表している
- ↓表現がいい

「オニグモじいさんの朝ごはん」をどのように読むと、そのよさを見付けることができるのかを考えよう。

「オニグモじいさんの朝ごはん」を読んで心に残ったところを交流しよう。

ポイント

- ここでは、児童の読書の状況を見取り、児童が交流しながら「精査・解釈」の力を付けていく授業を設定しました。物語を読む観点を十分にもつことができていない児童が多い場合には、**令和4年度【小学校】授業アイディア例「不思議な出来事が描かれている物語を読み、友達とすいせんし合おう」**のように読む観点を学級全体で明確にしてから、各自の読書に入るなど、児童の実態に応じて授業を行うことが大切です。
- 文学的な文章を読む際には、「どんなお話だったか」という点だけでなく、「どのように読むと、物語のよさに気付くことができるか」という点を意識して授業を行うことが大切です。

B : ③ / 4 文学的な文章をどのように読むとよいかを考える

◇ 心に残った理由をはっきりさせ、「読書の記録」にまとめることを通して、物語をどのように読むと、そのよさを見付けることができるかを考えることにしました。



教師

前の時間に、「オニグモじいさんの朝ごはん」を読んで、心に残ったところを交流しましたね。今日は、それぞれ心に残った理由を考えたり、交流したりしながら、「読書の記録」に書くことを通して、どのように読めば、物語のよさを見付けられるかを考えていきましょう。



岸さん

私は、仲良くなったところがいまいちと思ったのですが、オニグモじいさんとハエの女の子がいつの間にか仲良くなっているの、いつから仲良くなったのか、もう一度読み直して確認したいです。



原さん

島さんは、「表現がいまいち」と思ったところをいくつか見付けながら読んでいました。ぼくは、自分がどうしてそこがよかったのか、まだはっきりしていません。



島さん

原さんは、心に残ったところを書き抜いています。私と心に残ったところがちがうので、どうしてそこが心に残ったのか、聞いてみたいです。



なるほど。では、岸さんは、もう一度、物語を読み直してみる時間にするとよいですね。島さんは、原さんにどうして心に残ったのかを聞いてみるとよいですね。原さんも、島さんと交流すると、自分の考えがはっきりするかもしれませんよ。



先生、物語の中から、理由となる文をどうしたら見付けられるか分かりません。

そうですか。岸さんは、文の中のどこから二人が仲良くなっているなど感じたのですか。

「はやくかえって、安心させてやりな」というところで、オニグモじいさんがやさしくなったなと思いました。

確かに、やさしいですね。でも、「仲良くなった」ということは、最初はちがったのですか。

最初は「こらこら」ってぶあいそうに言っているから、やさしくなかったと思います。

なるほど。物語の最初から最後に向かって、少しずつ二人が仲良くなっていったのかもしれないですね。場面ごとに二人の関係に気を付けながら読んでみたら、分かるかもしれませんよ。

場面ごとの二人の行動をもう一度読んでみます。



それでは、友達と交流したり、もう一度読み直したりして分かったことを基に、「読書の記録」を書いてみましょう。



ねえ、原さん。なぜ、ここが心に残ったの。

この言葉に、オニグモじいさんの迷いが表れていると思ったからなんだ。ハエの女の子のすなおな姿を見て、どのように話するか迷っているのではないかな。

そうか。それで結局、オニグモじいさんは、「わしが食って生きているのはな、朝日のひかりだよ」と言ったんだね。

そうそう。オニグモじいさんが二回言いかけて、やっぱりやめた後に、思いついたように言ったところから、迷いがふっきれた感じが伝わってきていいなと思ったんだ。

確かに。オニグモじいさんの人のよさが伝わってくるね。わたしは、空の様子を書き表し方がきれいだと思って読んでいたけれど、おじいさんの人物像に着目して読んでみるのもおもしろいね。

そのことを「読書の記録」に書いてみるというと思うよ。

そうだね。そうしてみるよ。その後、ぼくも、空の様子に着目して読んでみようかな。

【児童がクラウド上に置いた「読書の記録」】

岸さんは、漠然ともっていた物語の印象について、根拠となる描写を見付けて、登場人物の気持ちの変化を捉えることができたようですね。

原さんは、島さんとの交流を基に、「登場人物の気持ちや考え方」に着目して根拠となる叙述を複数見付けることができたようですね。

島さんは、原さんとの交流を基に、人物像に着目して物語を読み直し、自分の読みの観点を増やせたようですね。

オニグモじいさんとハエの女の子が仲良くなるいいお話でした。なぜかという、最初は、「こらこら」ってぶあいそうに言っていて、やさしくなかったけれど、最後は「はやくかえって、安心させてやりな」と言っていて、オニグモじいさんがやさしくなったなあと思ったからです。(岸)

「わしみたいなクモが、生きるために食っているのはな」と言ってやめたところが心に残った。それを二回やめているのもおもしろいなと思った。その後で、「朝日のひかりだよ。」と思いきったように言ったところから、迷いがふっきれた感じが伝わってくるので、おじいさんは温かい人だなと思った。(原)

オニグモじいさんの人のよさが見えるところがおもしろい作品です。最初はひとりぼっちでさびしかったから、ハエの女の子が来たときもぶあいそうだったし、「自分が食べているのは…」と言いかけるところも、少しらん暴に感じました。でも、ハエの女の子のじゅんすいさによわってしまったり、最後には「早く家に帰りな」とやさしく言ったりするところから、実際のおじいさんのよさが出ているなと思いました。(島)



教師

「オニグモじいさんの朝ごはん」を読んで、心に残ったところを交流したり、物語を読み直したりすることで、物語のよさを見付けることができましたね。また、その後、感じたことや考えたことを「読書の記録」に書いてみましたが、どのような学びがありましたか。



岸さん

「どこからそう思ったのか」を探しながら読むと、自分がいいなと思った理由がはっきりしました。



原さん

島さんと話をしたら、ぼくは登場人物に魅力を感じていたことが分かりました。また、いくつかの文を結び付けて読むことで登場人物の人物像がさらに明確になりました。



島さん

原さんと交流して、オニグモじいさんの人物像にも魅力があるなと気付きました。これからは表現だけでなく、登場人物や物語の全体のイメージなどのよさにも目を向けて物語を楽しみたいと思いました。



みなさん、一つの物語から、様々なよさを見付けることができましたね。また、どのようにして読むと物語のよさを感じることができると分かりましたね。

本アイデア例では、児童一人一人が文学的な文章を様々な観点で読む事例を紹介しました。

読みの観点を明確にした指導事例については、

- ・「平成29年度【小学校】授業アイデア例」pp. 7-8
 - ・「令和2年度【小学校】調査問題活用の参考資料」pp. 26-31
 - ・「令和4年度【小学校】報告書」pp. 41-47
- を参照してください。

「オニグモじいさんの朝ごはん」をどのように読むと、そのよさを見付けることができるのかを考えよう。

○どのように読めばよいか

- ・「どこからそう思ったのか」をさがす。
- ・いろいろなところに書かれているものを結びつけて読む。
- ・場面ごとに「何が、どのように変化したのか」を読む。
- ・「どうしてその表現にしたのか」を考えながら読む。

ポイント

- 物語について「何が心に残ったのか、どうして心に残ったのか」を自覚することが難しい児童や、複数の叙述を結び付けて考えることが苦手な児童がいる場合には、一人一人の児童の必要に応じて、教師が問いを投げかけたり、友達との交流を促したりして指導することが大切です。
- 登場人物の行動や会話に着目させる際には、それぞれの文の主語を意識しながら読むように促すことも考えられます。

◇ これまで文学的な文章を読んで書きためてきた「読書の記録」と「オニグモじいさんの朝ごはん」の学習を終えて書いた「読書の記録」を比較し、自分の学びを振り返ることにしました。



教師

今日は、これまで書き溜めてきた自分の「読書の記録」を見返して、これから物語を読むときに、何を大事にしていきたいかを考えてみましょう。

【これまでの「読書の記録」】

5/7 「うら島太郎」

うら島太郎がりゅうぐう城に行くところがおもしろかった。(岸)

5/10 「銀色のげん想」

「老人はにっこりした。」という一文が心に残った。老人のぼくへのやさしさが感じられて感動した。(原)

5/16 「星の王子さま」

「自分が、これやすすいたから物をだしている気がした。地球上に、これ以上これやすすいたから物はないような気さえた。」
「いちばん大事なものは目に見えない」と分かり合えた王子さまとぼく。その王子のことをたから物、しかも地球上で一番これやすすいと表現しているところが私の心にひびいた。このほかにもすてきな表現がたくさんある。表現のすばらしさがりばめられた、私にとってのかけがえのない物語だった。(島)

【今回の「読書の記録」】

オニグモじいさんとハエの女の子が仲良くなるいいお話でした。なぜかという、最初は、「こらこら」ってぶあいそうに言っていて、やさしくなかったけれど、最後は「はやくかえて、安心させてやりな」と言っていて、オニグモじいさんがやさしくなったなあと思ったからです。(岸)

「わしみたいなクモが、生きるために食べているのはな」と言ってやめたところが心に残った。それを二回やめているのもおもしろいと思った。その後で、「朝日のひかりだよ。」と思いきったように言ったところから、迷いがふっきた感じが伝わってくるので、おじいさんは温かい人だなと思った。(原)

オニグモじいさんの人のよさが見えるところがおもしろい作品です。最初はひとりぼっちでさびしかったから、ハエの女の子が来たときもぶあいそうだったし、「自分が食べているのは…」と言いかけるころも、少しらん暴に感じました。でも、ハエの女の子のじゅんすいさによわってしまったり、最後には「早く家に帰るな」とやさしく言ったりするところから、実際のおじいさんのよさが出ていたなと思いました。(島)



岸さん

これまでの自分の「読書の記録」を見返したら「楽しかった、おもしろかった」しか書いていませんでした。でも、今回みたいに、場面ごとの二人の行動に気を付けながら読むと、この物語のいいなと思った理由が分かってきました。



そうですね。岸さんは、前の時間、「どこからそう思ったのか」を探しながら読んでいましたね。登場人物の関係性の変化を考えながら文章を読んでいくと、どんなところがおもしろいのか、それはなぜかがはっきりしてきますね。



原さん

これまでには心に残ったところを一つしか書いていませんでした。でも、今は理由となるいくつかの文を見付けることができるようになりました。



島さん

これまで、表現のよさに注目して、心に響く言葉などを書いてきました。これからは、登場人物や全体のイメージなど、いろいろなよさを見付けて物語を味わいたいです。それから、今まで自分になかった考えなども記録していきたいです。



そうですね。自分の心に残ったところや心に響く言葉を見付けながら読むと、よいと思った理由もはっきりさせることができますね。また、今まで自分になかった考えなどを書き残すことも「読書の記録」をよりよくすることにつながりそうですね。



さて、みなさん、これから夏休みに入りますが、夏休みも、学んだことを生かして、物語に親しめるといいですね。

ポイント

- それぞれの活動の終わりに全体で学習を振り返る場面を設定することで、この活動で、どのような学びがあったのかを自覚できるようにすることが大切です。
- 児童自身が文学的な文章のどこに着目して読んだかを明確にすることが大切です。授業の中に、日々自分が書き溜めてきた「読書の記録」を見返す時間を位置付けるなどして、児童自身が自分の読みを振り返る機会を設けると効果的です。

**C：読書活動を
振り返る場面**

これまでの読書活動を振り返り、読書の意味を考える

◇ 一年間取り組んできた読書活動を振り返り、読書の意味を考えます。



教師

みなさんは一年間、さまざまな種類の本を読んで、日常的に読書に親しまいましたね。読書にどんなよいところがあったか、振り返ってみましょう。

【Aグループでの振り返り】

私は、日本の歴史に興味があったから、いろいろな時代の本を図書館から借りたよ。

私は、星について疑問があったんだけど、本を読んだら疑問だったことが解決したよ。困ったときには、読書をするとう解決できるね。



ぼくも好きなシリーズの本を図書館から借りたけれど、図書館には自分の読みたい本があるね。

【Bグループでの振り返り】

私は、伝記を読んで、今までの自分になかった考えを発見することができたよ。

ぼくは、意見文を読んだら、自分の考えも広がったし、自分の心に響く言葉も見付かったよ。



ぼくは、物語の登場人物の生き方にふれて、自分の生き方についても考えるようになったんだ。

【Cグループでの振り返り】

いろいろなジャンルの本を読んで、自分の本の読み方が変わってきた気がするよ。

私が読んだ説明文は、結論が一番最初に書かれていて、分かりやすかったし、説得力もあったよ。文章の書き方も大事なだね。



ぼくは、自分が文章を書くときに役立つ書き方を学ぶことができたよ。今後、この書き方で書いてみようと思ったよ。



みなさん、読書をしてきたことで、いろいろな読書のよいところを感じることができましたね。これからも、読む目的を意識しながら読書をして、自分の考えを広げたり、自分の学びを深めていきましょう。

ポイント

- 児童自身が読書の価値に気付くことができるようにすることが大切です。年間の「読書の記録」を生かして、どのような本や文章を読んできたのか、読書がどのように自分の考えを広げるのに役立ったのかなど、交流する場を工夫し、児童同士で気付きを引き出せるようにすると効果的です。

※出典等

【物語】は、松居スーザン『はらっぱのおはなし』（1996年6月 あかね書房）収録『オニグモじいさんの朝ごはん』による。問題作成の都合上、一部表記を改めたところがある。